

平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 日本ファルコム

コード番号 3723 URL <http://www.falcom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 季洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 中野 貴司

TEL 042-527-0555

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	923	7.2	400	36.1	399	35.3	283	43.5
26年9月期第3四半期	861	36.4	294	512.1	295	505.3	197	537.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	27.59	—
26年9月期第3四半期	19.23	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年9月期第3四半期	3,432		3,352		97.7	326.15
26年9月期	4,209		3,172		75.4	308.57

(参考)自己資本 27年9月期第3四半期 3,352百万円 26年9月期 3,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年9月期	—	0.00	—		
27年9月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年9月期の期末配当金の内訳 普通配当5円00銭、記念配当5円00銭

3. 平成27年 9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	△21.3	750	△42.4	750	△42.5	483	△37.6	46.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期3Q	10,280,000 株	26年9月期	10,280,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年9月期3Q	102 株	26年9月期	33 株
----------	-------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期3Q	10,279,924 株	26年9月期3Q	10,279,976 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に関する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社はコンテンツメーカーとして、オリジナリティあふれるゲームコンテンツ及びサービスの創出を行い、その魅力を様々な分野・プラットフォームを通じて世界中のお客様にお伝えすることに努めております。

当第3四半期累計期間の製品部門におきましては、「日本ゲーム大賞」や「プレイステーションアワード」など数々の賞を受賞し、高い評価をいただいております。携帯型ゲーム機PlayStation®Vita及び据え置き型ゲーム機PlayStation®3向けゲームソフト「英雄伝説 閃の軌跡」「英雄伝説 閃の軌跡Ⅱ」の販売が、引き続き国内及びアジア地域において継続しております。平成27年3月には「英雄伝説 閃の軌跡」を更にお求めやすい価格に設定した「英雄伝説 閃の軌跡 PlayStation®Vita the Best」「英雄伝説 閃の軌跡 PlayStation®3 the Best」を発売しました。

その結果、製品部門の当第3四半期累計期間の売上高は256百万円（前年同期比35.2%減）となりました。

また、当社初の現代を舞台とした完全新作となる挑戦的な意欲作「東京ザナドゥ」の開発に注力してまいりました。この「東京ザナドゥ」は、期待の新作タイトルとしてゲーム雑誌による前評判も高く、発売に向けて良好な市場環境が整ってまいりました。なお、当社代表作の1つである「イース」シリーズ最新作についても、鋭意制作中です。

ライセンス部門におきましては、北米及び欧州地域において、英語版PCゲームのダウンロード販売が引き続き好調で、当社が過去に発売した「イース」シリーズのタイトルや「空の軌跡」が順調に販売を伸ばしており、国内においては、PlayStation®Vita向けゲームソフト「英雄伝説 空の軌跡FC Evolution」を平成27年6月に発売しました。この「英雄伝説 空の軌跡FC Evolution」と「イース」シリーズ生誕25周年記念作品である「イース セルセタの樹海」につきましては、繁体字及び簡体字中国語版の発売を決定しました。さらに「英雄伝説 閃の軌跡」についても、簡体字中国語版を現在開発中で、中国本土への進出が決定しております。

また、中国ゲーム開発大手で「Changyou.com（チャンユードットコム）」でも知られている、ナスダック上場企業「Changyou.com Limited（北京暢遊時代数碼技術有限公司）」と提携し、中国本土の巨大モバイルアプリ市場に向けて継続的にリリースを行う契約を締結しました。

その他にも、「チェインクロニクル～絆の新大陸～」(株式会社セガゲームス)や「拡散性ミリオンアーサー」(株式会社スクウェア・エニックス)と「英雄伝説 閃の軌跡Ⅱ」とのコラボレーション企画などを展開しました。

その結果、ライセンス部門の当第3四半期累計期間の売上高は666百万円（前年同期比43.2%増）となりました。

それらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は923百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は400百万円（前年同期比36.1%増）、経常利益は399百万円（前年同期比35.3%増）、四半期純利益は283百万円（前年同期比43.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、主に現金及び預金が675百万円増加したことに対し、売掛金が1,446百万円減少したことにより3,432百万円（前事業年度末比18.5%減）となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、主に買掛金が298百万円減少したこと、未払法人税等が519百万円減少したこと等により79百万円（前事業年度末比92.3%減）となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払い102百万円があったことに対し、四半期純利益を283百万円計上したことにより3,352百万円（前事業年度末比5.7%増）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年11月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,465,346	3,141,292
売掛金	1,612,572	166,248
製品	2,470	1,219
原材料	4,558	3,589
その他	66,441	71,324
流動資産合計	4,151,389	3,383,673
固定資産		
有形固定資産	10,097	7,938
無形固定資産	7,418	5,529
投資その他の資産	40,150	35,154
固定資産合計	57,666	48,622
資産合計	4,209,056	3,432,295
負債の部		
流動負債		
買掛金	304,345	5,396
未払法人税等	519,488	-
賞与引当金	21,750	6,000
その他	191,408	68,053
流動負債合計	1,036,991	79,449
負債合計	1,036,991	79,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	164,130	164,130
資本剰余金	319,363	319,363
利益剰余金	2,688,607	2,869,470
自己株式	△36	△117
株主資本合計	3,172,064	3,352,846
純資産合計	3,172,064	3,352,846
負債純資産合計	4,209,056	3,432,295

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	861,150	923,153
売上原価	132,742	89,305
売上総利益	728,407	833,847
販売費及び一般管理費	433,872	432,968
営業利益	294,534	400,878
営業外収益		
受取利息	226	309
未払配当金除斥益	702	865
営業外収益合計	929	1,174
営業外費用		
為替差損	-	2,194
営業外費用合計	-	2,194
経常利益	295,464	399,859
税引前四半期純利益	295,464	399,859
法人税、住民税及び事業税	72,721	78,346
法人税等調整額	25,094	37,849
法人税等合計	97,815	116,196
四半期純利益	197,648	283,662

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。